第九回市民学校（最終回）

暮らしの中のコンピュータ

高知高専助教授　益弘　昌典氏

コンピュータは人間の暮らしを豊かにするために使われています。その意味では暮らしの外のコンピュータなどというものはないのですが、最も身近なところにあるのが暮らしの中のコンピュータということだろうと思います。

では、身近にあるコンピュータとはどのようなものでしょうか。最近では炊飯器、電話器、エアコン、ビデオなどの中にコンピュータが埋め込まれています。ただし、大きなコンピュータを炊飯器などの中に入れるわけにはいきませんので、その重要な部分であるマイコンと呼ばれるものが三つ四つ入っています。それで全自動といったものが可能になり、いろいろな家庭製品を一括管理することもできるようになりました。

職場では、ワープロやパソコンなどの中にコンピュータが取り込まれています。趣味や娯楽でもマイコンが使われるようになり、ゲームがおもしろくなりました。ファミコンなどのゲームソフトにも使われています。

テレフォンカードなどのカードの度数を勘定しているのはコンピュータです。カード自体にコンピュータの働きを持たせる試作研究も進んでいます。また、施設園芸のハウスの管理を自動化することなどもコンピュータで行われています。

次にコンピュータの概要についてお話しします。装置のことはハードウェアと言いますが、その中心は電子回路です。電子回路は昔から考えると百分の一くらいの値段になっていますので、炊飯器の中にも使われるようになり、タイマーなどいろいろな機能を持たせています。その中でかなめの部分は一㎝四方くらいです。

コンピュータはメモリと呼ばれる記憶装置と、入力装置、出力装置、中央処理装置からなっています。コンピュータの価値は電子回路の価値ということになるのですが、それは高速、大容量記憶、高信頼性です。

コンピュータを動かすためにはプログラムが必要です。これはソフトウェアと同じような意味です。そのソフトウェアを作るのは人間ですので、コンピュータを過信して、コンピュータがやったから絶対間違いないというのは間違っています。コンピュータにやらせたのは人間です。間違いもありますし、故意に間違うこともあります。

家電製品はメーカーがソフトウェアを入れ、私たちはデータを入れているのです。メーカーの作ったプログラムがそのまま使えない場合は、共同で開発したりします。仕組みがわかっていれば十分の一とか百分の一の価格で自分でできますが、その場合はコンピュータ用の言語を知っていることが必要です。

コンピュータの命令は数が限られており、計算の命令、入力の命令、出力の命令など、基本的には十くらいです。誰でもでき、パソコンにも向いているのがベーシックです。そのベーシックをコンピュータの言葉に翻訳するためには、メーカー製の翻訳ソフトが必要ですが、安いものです。パソコンをお持ちの方は、一つの外国語だと思って勉強してみてください。

コンピュータは身近なもので、どこにでも転がっています。これからも知らずに使う機会は増えてくると思います。アレルギーを起こさず、さらに健やかで豊かに暮らせるように利用してください。

同和対策自動車免許取得訓練

免許取得によって雇用の促進を図るため、平成元年度の訓練生を募集します。

◪**対象**　同和地区住民
◪**免許の種類**　普通一種、普通二種、大型一種、大型特殊
◪**募集人員**　六人
◪**募集期間**　七月二十日～八月十九日
◪**申し込み先**　中央福祉館、南部福祉館（申込書は福祉館にあります）

詳しいことは、**中央福祉館**（☎㊸3220）、**南部福祉館**（☎㊸8285）までお問い合わせください。

米料理コンクール作品が冊子に

平成元年二月七日に開催された南国市米料理コンクールに市内の生活改善グループや農協婦人部の方々が応募してくださった作品が冊子になりました。

ご希望の方は、市役所一階ロビー会計課の前のテーブルの上においてありますので取りに来てください。

【産業経済課】

おわびと訂正

広報七月一日号十二ページの「南国市こども劇場事務所（☎㊸6058）」は、「☎㊸6085」の誤りでした。おわびして訂正いたします。